

共に治療について話し合うための質問紙（医療者用ガイド）

当院では、病状によらず、すべての皆様にそれぞれの方に適した治療法をどのように提供すべきかについてご本人やご本人にとっての大切な方と一緒に考えていきたいと思っています。

- **現在の**あなたのお考えを可能な範囲で教えてください。回答はいつでも変更できます。
- お答えの内容によって診療・看護上の不利益を被ることは一切ありません。
- 答えにくい質問やあてはまらないと感じる質問は空欄のままで結構です。
- お答えいただく中で心配なこと、不安に思うこと、医療者に相談したいことなどありましたら、いつでもお声かけください。途中で回答をやめることもできます。
- 選択式の項目はあてはまるものに☑を、記述式の項目はご自由にお答えください。

*** 質問紙を用いて話し合いを行うときは、次のことを明確に伝える ***

- ① 質問紙を活用する目的
- ② 必ずしも回答しなくて良いこと、回答する場合もすべての質問に答えなくても良いこと
- ③ ありのままの気持ちを回答して良いこと（ありのままの気持ちが知りたいということ）
- ④ いつでも回答は変えられること

お名前		ID		記入日	年 月 日
-----	--	----	--	-----	-------

1. あなたの治療に携わる医療者（医師や看護師など）との話し合いについてお尋ねします。 感じておられるありのままのお気持ちをお聞かせください。

- 1) 医療者と十分に話し合いながら治療を進められていると思いますか。
 そう思う ややそう思う どちらともいえない あまりそう思わない そう思わない
- 2) 医療者は、病気や治療に関して十分な説明をしてくれていると思いますか。
 そう思う ややそう思う どちらともいえない あまりそう思わない そう思わない
- 3) 医療者は、あなたが大切にしたいことを十分に聴いてくれていると思いますか。
 そう思う ややそう思う どちらともいえない あまりそう思わない そう思わない
- 4) 医療者は、あなたの疑問や気がかりについて相談に応じてくれていると思いますか。
 そう思う ややそう思う どちらともいえない あまりそう思わない そう思わない
- 5) 医療者の話を聞いた後、今後どうしたら良いかわからないような気持ちになりますか。
 そう思う ややそう思う どちらともいえない あまりそう思わない そう思わない

*** 話し合いのポイント ***

「どちらともいえない」～「そう思わない」の回答や空欄の回答がある場合、患者の反応をみながらその理由や医療者とのコミュニケーションについて気持ちを聴く

2. 今後の話し合いについて、ご希望をお聞かせください。

- 1-1) 医療者に聞きたいこと、話し合いたいことはどのようなことですか。(あてはまるものはいくつでも)
- 今後起こりうる症状や生活への影響 今後の生活の過ごし方 病気の今後の見通し
 その他 ()

*** 話し合いのポイント ***

がっている項目について、患者が具体的にどのようなことをイメージしているのか尋ねる
何もしていない場合は今後起こりうることなどについて医療者との話し合いを希望するか
尋ねる

→話し合いを希望しない場合はその理由や背景について可能な範囲で気持ちを聴く

例：「そのように思われるのはどんな思いからでしょうか」

- 1-2) 予後（予想される平均的な余命）についてできるだけ詳しく知りたいと思いませんか。

そう思う ややそう思う どちらともいえない あまりそう思わない そう思わない

*** 話し合いのポイント ***

回答の内容だけでなく、その理由や背景について可能な範囲で気持ちを聴く

- 2) 病状についてご家族とも話し合いながら、治療を進めていきたいと思いませんか。

そう思う ややそう思う どちらともいえない あまりそう思わない そう思わない

- 3) 未成年のお子さんがおられる方は、病状についてお子さんへも伝えていきたいと思いませんか。

そう思う ややそう思う どちらともいえない あまりそう思わない そう思わない
 子どもによって違う 迷っている (相談希望 家庭内で考えたい)

*** 話し合いのポイント ***

家族（子どもを含む）との話し合いを希望する場合もしない場合も、現状としてどのように
伝えているかは確認し、話し合いを希望しない場合はその理由・背景について気持ちを聴く

3. 今後の治療について、ご希望をお聞かせください。

- 1) 治療方法を決めていくときに、あなたが大切にしたいことはどのようなことですか。

a きつい（つらい副作用がある）治療はなるべく避けること

そう思う ややそう思う どちらともいえない あまりそう思わない そう思わない

*** 話し合いのポイント ***

患者が考えているきつい（つらい）治療とはどのようなことを考えているのか、
そのように感じている気持ちについて聴く

b 副作用はある程度我慢してでも最も効果の高い治療を受けること

そう思う ややそう思う どちらともいえない あまりそう思わない そう思わない

c 生活の質（自分が希望するような生活の過ごし方、満足感、充実感）を大切にすること

そう思う ややそう思う どちらともいえない あまりそう思わない そう思わない

2) 今後の治療や生活について、気がかりなことはどのようなことですか。

3) これから大切にしていきたいことはどのようなことですか。（あてはまるものはいくつでも）

自立した自分でいられること

楽しみや喜びがあること

家族や友人との時間を過ごすこと

家庭や社会の中で自分の役割を果たすこと

仕事を継続すること

痛みや苦しみの少ない状態で過ごすこと

自分の意思で治療を選択すること

大切な人と一緒に治療について考えること

治療費の負担ができるだけ少ないこと

その他（

）

4) あなたを支えていること（あなたが支えられていると思うこと）はどのようなことですか。

5) あなたご自身にとって、治療の目標とはどのようなことですか。

*** 話し合いのポイント ***

①現治療を継続している場合、今の生活や治療の中で大切にしたいことが大切にできているか
話し合う

②治療変更を予定している場合、回答のうち影響を受けると考えられることについて話し合う

①・②いずれの場合も、必要に応じて優先順位について話し合う

4. 将来に備えて、ご自身のお考えや大切な人との話し合いの状況について教えてください。

1) ご自身の今後の過ごし方について、考えたことがありますか。 ある ない

→考えたことが「ある」方は、そのことについて大切な人にお話になったことがありますか。

すべて伝えている 大事なことは伝えている あまり伝えていない 伝えていない

*** 話し合いのポイント ***

考えたことが「ある」と回答した人には具体的な内容について尋ねる

医学的な状況から今後に関する話し合いが必要と考えられる場合に、考えたことが「ない」を回答していれば、背景にある気持ちやこれまで話し合ってきた内容を尋ねる

→伝えておられる場合、あなたの大切な方はあなたのお考えに同意しておられますか。

すべて同意している ほぼ同意している 一部同意している 同意していない

2) あなたの今後の過ごし方に対する大切な人の希望や思いをお聞きになりましたか。

十分に聞いている 聞いている あまり聞いている 全く聞いている

*** 話し合いのポイント ***

重要他者との間で伝え合っていることがある場合、ご本人の了承が得られる範囲で具体的にどのようなことを伝えているか（聞いているか）話を聴く

伝えていない、または聞いていない場合、伝えていない（聞いていない）理由や気持ちを話せる範囲で話してもらい、今はどうしたいと思っているか尋ねる

病勢の進行等、医学的な状況から話し合いの必要があれば医療チームで介入を検討する

3) あなたがご自分でご自身の意向を医療者に伝えることが難しいような場合、あなたの代わりに治療などに関する判断をしてくれる人はいますか。

いる いない 今は考えていない

→「いる」方はその方のお名前（ ）・あなたとのご関係（ ）

→その方には代わりに判断して欲しいことを伝えてありますか？（ はい いいえ ）

*** 話し合いのポイント ***

平均余命が1年以上期待できる場合など現時点で話し合いが必須でない状況では、たとえ空欄であっても話し合いに取り上げなくて良い

病勢の進行等により医学的に代理意思決定者を考える必要がある場合は医療チームで介入を検討する

5. このような質問紙は、あなたの心理的な負担になりましたか？

そう思う ややそう思う どちらともいえない あまりそう思わない そう思わない
 そう思う ややそう思う どちらともいえない あまりそう思わない そう思わない

*** 話し合いのポイント ***

「そう思う」～「どちらともいえない」と回答してある場合、患者の反応をみながら話し合いの内容や深さを十分に吟味し、話し合いのあとにもより注意を払ってケアを継続する